

## 「目標を持ち諦めず ねばり強く努力することの大切さ」

校長 前田 義典

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末の寒波もありましたが比較的過ごしやすい日が続く冬休みとなりました。年末年始は冬らしい晴れ間も見られました。このような中で2024年を迎えることができました。節目の時として充実した1年へのスタートとしたいと思います。しかし、この1月1日に石川県能登地方を最大震度7の地震が襲い、各地で甚大な被害が出ています。自然の猛威に身のすくむ思いがするとともに、被災された方々の一日も早い日常の回復を望んでいます。さらに私たちが阪神淡路大震災での経験を今後も活かしていくことの大切さを感じています。

3学期の始業式では子どもたちに「目標を持ち、諦めずねばり強く努力することの大切さ」について話をしました。新しい年の始まりにあたって、今年の夢や目標も新たにした人も多いかと思います。目標の達成には準備と計画が必要です。例えば、明日習う勉強にぴったりあわせて準備することが大切です。そして、自分の力で何かができたり、大事なことがわかった喜びは言葉では言えない充実感・満足感を味わえます。反対にうまくいかなかったときはなにがよくなかったのか、どこをどうすればいいのかを自分の頭のなかで経験を再構成して振り返ることで、今度こそはと次への挑戦につながります。そのうえで、学んだことを実際の生活のなかで活用し、さらに工夫ができる力を養っていければよいと思います。メジャーリーグの大谷翔平選手は高校生の時に自分の目標を達成するための方法を図に書いて、計画的に目標達成に向かいました。きっと、練習や試合の中でうまくいったことは「よし次も」と充実感を感じながら、うまくいかなかったことは「今度こそ」という気持ちで成長していったのではないのでしょうか。それと同じような気持ちで、「志染っ子」のみんなが生き生きと力を発揮し、うまくいった時の充実感や失敗したとしても次へ向かう粘り強さを大切に、毎日を過ごして成長してほしいです。

まとめの時期の3学期となりました。これから子どもたちが新たな一步を踏み出せるよう、職員一同、全力で取り組んで参ります。今学期は志染っ子フェスティバルや卒業式などの大きな行事も控えています。そのなかで、子どもたちは毎日の勉強に励み、それぞれの学年が次の学年に進む準備もしていきます。6年生は小学校を卒業して中学校での勉強が待っています。そのために今を大切に、小学校での最後の学期を充実させ4月からの中学校生活につなげてほしいと思います。今後も子どもたちの健康・安全を優先に教育活動を進めて参りますので、本校教育の推進にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2学期終業式での整列



一斉下校（2学期）